

会長挨拶

静岡実験動物研究会 会長
静岡県立大学薬学部薬理学分野教授
石川 智久

コロナ禍におきまして、皆様方もいろいろとご不便を強いられていることと存じます。一昨年、この挨拶文を書かせて頂いた頃、新型コロナウイルス感染が日本でも広がり始め、いわゆるコロナ禍の第1波のさなかでした。これまで感染者が比較的少なかった静岡県におきましても、変異株の出現等により、現在の第6波では多数の感染者が出ています。身近に感染者が出る場面も稀ではなくなっています。こうした状況下、対面での会議等が制限される一方で、オンライン化は劇的に進んでおり、本研究会も、昨年度は教育セミナー及び総会・研究発表会をオンライン開催いたしました。昨年度は50周年総会記念大会ということで、オンライン開催は少々残念な面もありましたが、充実した特別講演をご用意いただいたこともあってか、例年よりも多くの方にご参加いただき、盛況のうちに記念大会を終えることができました。ご参加いただいた会員の方々に、あらためて感謝申し上げます。私も、「静岡実験動物研究会50年を振り返って」という題目で、これまでの実験動物を取り巻く状況の変遷にあわせて、本研究会の歴史を紹介させていただきました。実験動物が今日の医療の発展やライフサイエンス研究の隆盛を支える極めて重要な資源であることに疑いの余地はありませんが、動物の愛護や管理に関する法律、実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準、動物実験等の実施に関する基本指針等が整備され、動物実験実施における制約は厳しさを増しています。実験動物に携わる会員相互の研鑽・情報交換の場である本研究会の果たす役割は、今後も益々大きくなっていくことでしょう。

現状ではコロナ禍の収束はまだ見通せない状況であり、今年度も教育セミナーは8月26日（金）にオンラインで開催することになりました。オンライン開催の利点を生かして、遠方から3名の先生にご講演いただく予定です。多くの会員の皆様のご参加をお待ちしております。また、この教育セミナーは会員限定であるため、会員拡充の絶好の機会でもあります。お知り合いへの宣伝もよろしく願いいたします。一方、総会・研究発表会については、今のところ現地開催を予定しています。日本クレア（株）原正光幹事のご尽力により、令和4年10月28日（金）に三島市の東レ研修センターにて、第51回総会および第49回研究発表会を開催します。ただし、県内外の情勢に応じて、オンライン開催に変更する可能性もあります。その際は、メール及びホームページにてご案内させていただきます。静岡実験動物研究会の活性化と更なる発展は、研究発表会で多くの演題が発表され、活発な議論が行われることにかかっています。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

■企画委員からのお知らせ

企画担当幹事

渡辺（ボゾリサーチセンター）、白井（浜松ファーマリサーチ）、金子（静岡県立大学）

動物実験における技術と教育は、科学の進歩に伴った実験の精度あるいは信頼性の向上のためには必要不可欠なものと言えます。

今年度の教育セミナーは、動物実験におけるイノベーションをテーマとして、新しい技術や考え方に関して 3 名の先生にご講演を頂きます。会員皆様の日夜の研究における一助となれば幸いです。

令和 4 年度教育セミナー

「イノベーションがもたらす明日の動物実験＜技術と教育＞」

日時：2022 年 8 月 26 日（金）13:30～17:30

会場：オンライン開催（Zoom）

タイムスケジュール

12:30 受付開始

13:00～13:05 開会

13:10～14:10 「実験動物技術者のスキルアップについて」

小山 公成 先生（株式会社ケー・エー・シー）

14:10～15:10 「マウスのハンドリングを考え直してみませんか。」

野田 義博 先生（東京都健康長寿医療センター 研究所）

休憩 30 分＜賛助会員アピールタイム＞

15:40～17:10 「AI が変える明日の動物実験」

村田 幸久 先生（東京大学大学院農学生命科学研究科）

17:10 閉会

【参加資格】 当会会員 及び 賛助会員

・非会員の方は予めご入会頂き、参加申し込みの程宜しくお願い致します。

年会費は 1500 円です。入会される場合はホームページの入会案内をご覧ください。

<<https://www.shizuoka-eara.com/入会案内/>>

・賛助会員は 1 機関 3 名まで参加可能とします（個人が正会員である必要はありません）。

所属機関単位でのお申込みをお願い致します。

【参加申し込み】

- ・下記の企画担当委員までメールにてお申し込み下さい。
- ・可能な限り所属機関単位でとりまとめてお申し込みをお願いします。
- ・参加費は無料です。
- ・申し込み締め切り日：2022年7月29日（金）
- ・定員は特に設けません。
- ・参加要領は受付確認後にメールにてお知らせ致します。

【申し込みメール記入例】

件名： **【静岡実験動物研究会】教育セミナー参加申し込み**

本文： 以下のとおり参加を申し込みます。

所 属：

参加者氏名：

Email アドレス：

電話番号：

【お申込み、お問合せ先】

静岡実験動物研究会 企画担当委員 担当：渡辺 大

株式会社ボゾリサーチセンター 函南研究所

TEL: 055-978-7851

Email : watanabe@bozo.co.jp

■ 令和4年度大会開催にあたって

静岡実験動物研究会 令和4年度大会大会長

日本クレア株式会社 原 正光

会員各位におかれましては時下ますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。

早いもので新型コロナウイルスの感染拡大が騒がれてから、2年という月日が流れました。感染終息の兆しが見えない中、様々な学会がオンラインでの開催を余儀なくされてきましたが、最近ではそんな状況下でも、徐々に現地開催を決断されるケースが増えてきております。まだまだ油断できない状況ではありますが、当研究会でも令和4年度大会を2年ぶりに現地開催する事と致しました。開催時期のコロナの感染状況によってはオンライン開催に切り替えることも念頭に置き、皆様に安心して研究発表会に参加して頂けるよう、鋭意努力し準備を進めております。

第49回研究発表会では特別講演として東京大学の饗場篤先生にご登壇いただき、「遺伝子組換えマーマーモセットの研究への活用方法」についてご講演いただきます。

小型の霊長類であるコモンマーマーモセットは、生理学・解剖学的な特徴や薬物代謝がヒトと類似しているため、神経疾患研究や創薬研究の分野で用いられてきました。特別講演では、このマーマーモセットの遺伝子組換え個体が確立されることにより、さらなる医学研究への貢献や、どのように研究に活用されていくのか、実験動物としての「未来と可能性」についてお話を伺います。

また、この研究発表会を若手の研究者、技術者方々の初めての発表の場にしていただき、技術提供、経過報告、情報交換や親交を深める場としてご提供できれば幸いです。35歳未満の演者様は「林栄一賞」の受賞対象となります。発表済み・未発表を問わず広く演題を募集いたしますので、多くの皆様の参加と発表を役員一同お待ちしております。

令和4年度大会開催案内

日時：令和4年10月28日（金）

受付 12:00より

総会 12:30より

研究発表会：13:00より

場所：東レ総合研修センター

〒411-0032 静岡県三島市末広町21番9号（三島駅北口から徒歩10分）

参加資格：会員のみ。参加希望者は会員登録を参加締め切りまでに行ってください。

参加費：無料

※「情報交換会」参加希望者のみ参加費として2,000円をお支払いください。



概要

▼総会

- 令和4年度事業報告
- 令和4年度会計報告
- 令和5年度事業計画

▼特別講演

「遺伝子組換えマーマセットの研究への活用方法（仮題）」

饗場 篤 先生

（東京大学大学院医学系研究科 疾患生命工学センター 動物資源学部門 教授）

▼研究発表会

※一般演題を募集しています。下記の演題募集要綱をご参照ください。

▼情報交換会

情報交換会

会員相互の親睦を深めるため、研究発表会后、ささやかながら情報交換会の開催を予定しております。奮ってご参加下さい。

日時 : 令和4年10月28日(金) 18時開催予定 2時間程度

場所 : 東レ総合研修センター センター棟 2階多機能室

情報交換会参加費 : 2,000円

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止の対策の為、参加人数を50人に限定し着席形式と致します。
ご容赦下さい。

■ 第49回研究発表会演題募集

静岡実験動物研究会第49回研究発表会の一般演題を下記の要綱にて募集しますので奮ってご応募下さい。発表時に35才未満の発表者(当研究会の会員)を対象とし、優秀発表賞(林榮一賞)の表彰もしています。

発表形式 : 口演(発表8分、質疑応答2分)

※ 応募演題数によっては発表時間を変更させて頂く場合がございます。

スライド形式 : MS-Power Point (ppt/pptx) Mac or Windows

募集要綱 : ①演題名、②発表者氏名、③共同研究者名、④所属、⑤連絡先(住所、電話番号、メールアドレス)、⑥会員区分(会員/非会員)、⑦発表時(10月28日)の年齢、⑧要旨(作成ソフトは可能な限りMS-Wordをご使用いただき、A4用紙1枚に作成下さい)。上記①～⑧を下記申し込み先にE-mail(メール添付)あるいは郵送にてお送り下さい。E-mailの件名は「静岡実験動物研究会演題申し込み(発表者氏名)」でお願いします。

応募締め切り : 2022年8月31日

申し込み先 : 〒153-8533 東京都目黒区東山1-2-7

日本クレア株式会社 東京AD部 営業課

原 正光

TEL : 03(5704)7050 FAX : 03(3792)2032

E-mail : haram@clea-japan.com

■ 会報掲載原稿提出のお願い

第 49 回研究発表会の発表内容を静岡実験動物研究会会報に掲載させていただきますので、発表者は下記要領に従って会報掲載原稿の作成および提出をお願いします。

<会報原稿作成要領>

- 1) 原稿の長さは、図表を含めて A4 刷り上り 2 ページを目処としております。1 ページあたり 2024 字を目安にして下さい。
- 2) 原稿の作成は①～④をご参照下さい。
 - ① 句読点は「.」、「,」を用いる。
 - ② 数字と単位の間には半角空白を挿入する（%の場合は空白なし）。
例) 25 mm、55 mL、82%
 - ③ 図表の表題：図の場合は図の下に、表の場合は表の上に記述する。
略語などの説明：図の場合は表題の下に、表の場合は表の下に記述する。
 - ④ 図表の文中での引用：句点付近では句点の前に記述する。
例) 増加した (図 2).
明らかとなった (Table 1).
- 3) その他体裁、引用文献の記載方法、刷り上りのイメージ等は、会報 45 巻 1 号 (2019) の一般抄録および巻末の投稿規程をご参照下さい。
- 4) 文章、図、写真、表は次のファイル形式で作成して下さい。
文章： Microsoft Word(doc)あるいはテキスト(txt)ファイル
図・写真： Microsoft PowerPoint(ppt)あるいは jpg ファイル
表： Microsoft Excel(xls)、Word(doc)あるいは PowerPoint(ppt)
- 5) 文章中には、図・写真および表の挿入箇所を入れて下さい。文章中に図・写真および表を挿入した原稿を作成して頂いても結構ですが、刷り上りの書式に整えていただく必要はございません。
- 6) 演題抄録の末尾に著者プロフィールを掲載しますので、著者名、略歴、主な研究、抱負、趣味、座右の銘など簡略に記載願います (必須ではありません)。体裁は会報 45 巻 1 号 (2019) の一般演題抄録をご参照下さい。
- 7) 原稿の提出は、2022 年 12 月 16 日 (金) までをお願いします。
- 8) 原稿の提出は、原稿ファイルの E-mail 添付、原稿ファイルを保存した CD-ROM 並びに印刷された原稿のご郵送のいずれかでお受けします。
- 9) 原稿の送付および原稿に関するお問い合わせは下記までをお願いします。

静岡実験動物研究会 会報担当

藤枝 祐太

興和株式会社

TEL: 0545-33-1716

Email: y-fujied@kowa.co.jp